

# 登下校の見守りに感謝

## 中関小児童が缶バッジ贈る

中関小学校（大坪勇一校長・児童726人）の児童が2日、登下校時に見守り活動を行っている地域のボランティアの人たちに感謝の気持ちを伝えようと、「感謝を伝える会」を開き、「オリジナル缶バッジ」を贈った。

この日は、中関校区で見守り活動や交通安全活動を展開している中関地域みまわり隊、母親クラブ、交通安全協会中関分会から約30人が出席。間もなく卒業する6年



〈缶バッジを手渡す代表児童〉

生の岡本百夏さん（11）が「皆さんが夏の暑い日も冬の寒い日も雨の日も学校へ行くことができま

した」と礼を述べた。同缶バッジは、同校コミュニティスクールのマスコット「なっかー」を配したデザイン。「6年間支えて、見守ってくさって、ありがとうございます」などのメッセージが入っている。

【報道】防日新聞（2022.3.8）

「登下校の見守りに感謝 中関小児童が缶バッジを贈る」

# 卒業・進級前の児童たち

## 地域の人へ感謝伝える

3月に入り、卒業や進級を前に、防府市内の小学校で児童たちが地域の人へ感謝を伝える行事が開かれている。

### 中関小はバッジ贈る

中関小（大坪勇一校長）は2日、校庭に中関地区のみまわり隊や母親クラブ、防府交通安全中関分会のメンバー約40人を招き、お礼の集会を開催した。過去には屋内で実施していたが、コロナ禍で屋外に変更。同地域で初の見守り隊が発足し、現在は3団体の約100



みまわり隊などの代表に手作りのバッジを手渡す中関小の児童

人が交代で、朝夕の登下校時の安全確保に努めている。

児童を代表して6年岡村百夏さん（11）が「暑いときも寒いときも雨の日もあいさつをしてくれて、楽しく登校ができました。困ったときや道路にはみ出しそうになったときに声を掛けてもらえてうれしかった」と話し、同小のマスコットキャラクター「なっかー」を

「ありがとうございました」と声をそろえて頭を下げた。

3団体の代表者たちは「新型コロナウイルスの影響で休校になったときは寂しい思いでしたが、皆さんから元気ももらっていました。中学校へ通うときも交通ルールを守り、小学生にも声を掛けてあげてください。はなむけの言葉を贈った。



下校する中関小児童を見守る大人たち

長になった5年宮内心香に合わせ歩くなどしてさん（11）は「副班長と安全に登下校できるようにして1年間やってきた経に頑張る」と笑顔を見せ験を生かし、低学年の子たち。（吉野敦裕）

【報道】 ほうふ日報（2022.3.8）

「卒業・進級前の児童たち 地域の人へ感謝伝える」